

事務事業名		綾里地区漁業集落環境整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業							
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目							
	施策名	011 地域活力を担う水産業の振興				会計	款	項	目	事業			
	基本事業名	022 漁業経営の安定支援		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		01	06	03	03	31			
根拠法令				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 元 年度～ 8 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分							
所属	部課名	農林水産部水産課				A 政策事業 B 施設整備							
	課長名	新沼秀樹				C 施設管理 D 補助金等							
	係名	集落環境係	電話	27-3111		E 一般(A～D以外)							
	担当者	村上浩人	内線	366									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)							
・農山漁村地域整備交付金事業により、綾里地区の水産飲雑用水施設(簡易水道事業所で実施)、漁業集落排水(雨水)施設整備を整備するもの。 ・令和3年度までに漁業集落排水事業の最終意向調査を実施し、住民の意向にそった基本計画を策定し申請、国の承認を受ける。 ・令和4年に詳細設計を実施し、工事施工を進める						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金					
							財源内訳	都道府県支出金	82,000				
								地方債	73,800				
								その他					
								一般財源	8,200				
								事業費計(A)	164,000				
						人件費	正規職員従事人数	2					
							延べ業務時間	11,070					
							人件費計(B)	44,280					
							トータルコスト(A)+(B)	208,280					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
基本計画策定にかかる調査業務の発注。 国へ事業計画申請し承認を受けた		ア	漁業集落排水(雨水)施設整備(実施延長)
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
詳細設計業務の発注、一部工事発注		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
綾里地区の住民、綾里地区(白浜と野々前の一部、小石浜、砂子浜、小路は除く)		名称	
		単位	
		カ	漁業集落排水(雨水)施設整備(計画延長)
		キ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
生活環境の向上。		名称	
		単位	
		サ	水産飲雑用水施設事業進捗率(事業費ベース)
		シ	水産飲雑用水施設事業進捗率(延長ベース)
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)		ス	
漁村全体の生活環境の向上が図られる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	2年度まで(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円			16,250	20,600	22,500	11,000
		地方債	千円			14,625	18,500	20,200	9,900
		その他	千円						
		一般財源	千円	4,730	4,730	1,625	2,100	2,300	1,100
	人件費	事業費計(A)	千円	4,730	4,730	32,500	41,200	45,000	22,000
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	2,160	2,160	1,350	1,350	1,350	1,350
		人件費計(B)	千円	8,640	8,640	5,400	5,400	5,400	5,400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	13,370	13,370	37,900	46,600	50,400	27,400
⑤ 活動指標	ア	m	—	0	40	520	960	1,190	
	イ		—	—					
	ウ		—	—					
⑥ 対象指標	カ	m	—	1,550	1,550	1,550	1,550	1,550	
	キ		—	—					
	ク		—	—					
⑦ 成果指標	サ	%	2.7%	5.5%	24.2%	47.9%	69.4%	82.3%	
	シ	%	0	0	2.6%	33.5%	61.9%	76.8%	
	ス		—	—					

事務事業ID	1369	事務事業名	綾里地区漁業集落環境整備事業
--------	------	-------	----------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
市内中心部より生活基盤の整備が遅れている漁港背後集落の生活環境の改善を図るため、令和元、2年度(繰)に市単独費により基本計画策定を実施し、事業認可を令和3年度内に受ける予定で、令和4年度から県の補助事業により事業を着手する。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
水産庁所管の農山漁村地域整備交付金事業を活用して整備するもので、令和元年度に越喜来地区漁業集落環境整備事業完了に伴い、本事業を着手した。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
地元からは早期整備の要望があった。  
集落排水施設(汚水)要望が低い。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 集落内の生活基盤を整備することで、漁村環境を向上させ、豊かな市民生活が実現できるため結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 集落内の快適な生活環境の整備を行うものであり、市管理の簡易水道、集落排水施設、集落道等の公共施設整備のため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 当該事業は、国庫補助事業の認可が必要であり、必要最小限の事業メニューのため、対象、意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 本事業は、集落内の状況及び地元要望も踏まえた計画により実施するものであり向上の余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 本事業を廃止・休止することにより、市内中心部との生活環境の格差が拡大する。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 汚水処理施設(漁業集落排水施設)について、市が整備する集合処理方式ではなく、個人で整備する個別処理方式(合併浄化槽)とすることで事業費削減の余地はある。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 汚水処理施設(漁業集落排水施設)について、市が整備する集合処理方式ではなく、個人で整備する個別処理方式(合併浄化槽)とすることで事業費削減の余地はある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 漁業集落排水施設は、集落内世帯の受益者負担が伴う。それ以外の施設は、極めて公共性の高い施設であることから、受益者負担にはなじまないものである。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	<p>① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止</p> <p>・漁業集落である綾里地区の排水施設や集落道などの生活環境施設を整備し、快適な生活を創出し、漁業の振興を図るため引き続き実施する。</p>	(2) 改革・改善による期待成果																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	地域住民との合意形成を図りつつ、事業メニューを決定し事業認可を受ける。	<p>左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持		●	×	低下		×	×
成果	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持		●	×																		
低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	令和3年度に事業実施方針が決定したことから、令和4年度以降、測量調査及び環境整備を実施していく。 なお、補助事業のメニュー変更(農山漁村地域整備交付金事業から漁村整備事業へ移行)が生じる予定なので、諸手続きを円滑に実施していく必要がある。